

報道関係者各位
プレスリリース



2025年1月31日
株式会社イノアックコーポレーション

【新製品】BASF INOAC ポリウレタンが新たな “高難燃”の吹付硬質ウレタンを2月より販売スタート

工事現場での火災要因 No.1 の「溶接・溶断」による火災を防止する
作業者にとって安心安全な断熱材を開発

日本で初めてウレタンフォームの生産を始めた高分子素材のリーディングカンパニーである株式会社イノアックコーポレーション（代表取締役社長：野村泰、名古屋本社：愛知県名古屋市・東京本社：東京都品川区）のグループ会社、株式会社 BASF INOAC ポリウレタン（代表取締役社長：諸橋雅彦、本社：愛知県新城市、以下 BIP）は、高難燃吹付硬質ウレタンフォーム「フォームライト®エコ SB-6400」を2月より販売開始しますことをお知らせします。



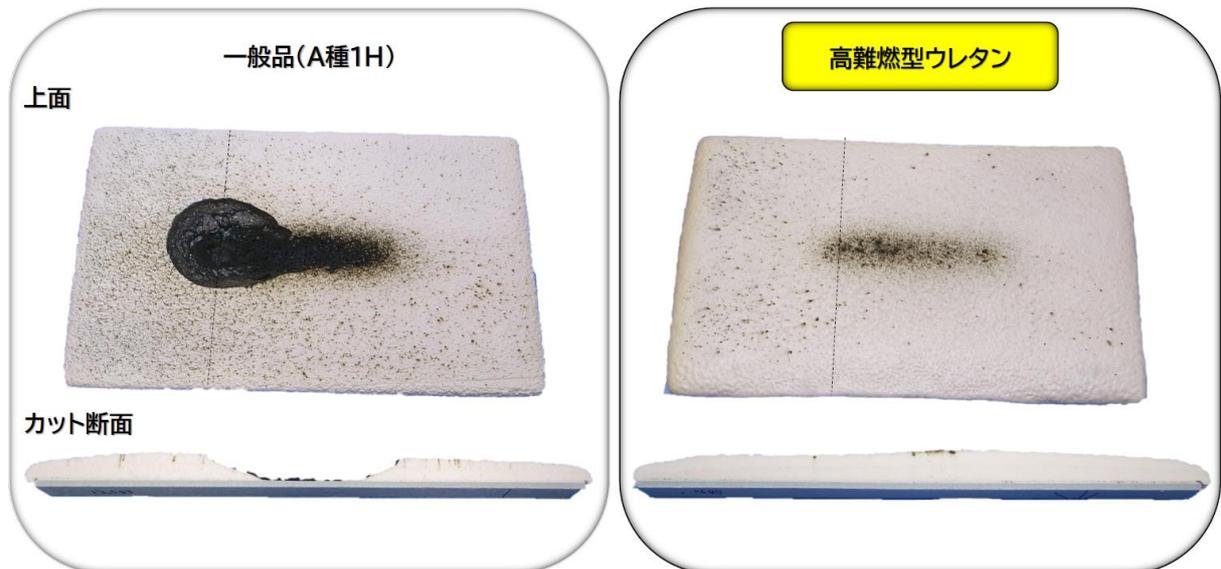
BIP は一般的なウレタンフォームより難燃性の高い、高難燃グレードの吹付硬質ウレタンフォーム「フォームライト®
工コ SB-6400」を開発しました。

施工方法に関しては、一般的なウレタンフォームと同等レベルを維持。施工前の攪拌作業を必要としないため、
施工効率を損なうことなく作業を進められます。また、既存の吹付設備をそのまま使用することができるため新しい
技術や設備をそろえる必要はありません。BIP では顧客を限定して2月より順次販売を開始します。

■“高難燃ウレタンフォーム”SB-6400 の難燃性について

高難燃吹付ウレタンフォーム“SB-6400”は一般品（A種1H）と比較して難燃性の高いことが確認されていま
す。

・JISA1323 試験



JIS A 1323 試験（建築工事用シートの溶接及び溶断火花に対する難燃性試験方法）では、貫通や残火が
ほとんど発生しませんでした。

・JISA1321 表面試験

JIS A 1321 試験等級			試験結果	規格
			2 級	2 級
表面試験	判定	合否	合格	—
	裏面亀裂・変形	—	無し	有害な変形の無いこと
	残炎	秒	9.0	<30
	温度時間面積	℃・分	6.7	<100
	残炎係数	CA	30	<60

JIS A 1321（建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法）の表面試験では、難燃 2 級基準値をクリアしています。

BIP は現場発泡ウレタンフォームを 50 年以上も研究開発を続けてきました。今後も建設業界の発展と安全性向上に貢献した材料づくりを進めていきます。

■ BASF INOAC ポリウレタン株式会社の概要

“顧客第一”をすべての行動指針の基本に掲げ、ポリウレタンを通して社会に貢献するという、創業から変わらぬ想いがあります。その想いを守るため“変わらないために変わり続ける”をモットーに、これからもポリウレタンのトータルサプライヤーとして、お客様と共に社会に貢献して参ります。

会社名 : BASF INOAC ポリウレタン株式会社

所在地 : 愛知県新城市川田字本宮道 1-196

設立 : 1965 年 11 月 1 日

公式 HP : <https://www.bip-jp.com/>



BASF INOAC ポリウレタン株式会社



■ 本プレスリリースに関しまして

プレスリリースに掲載されている内容やその他の情報は、発表時点での情報です。予告なく変更する場合があります。予めご容赦ください。

＜本プレスリリース・ご取材等に関するお問い合わせ先＞

株式会社イノアックコーポレーション 広報部 アウターコミュニケーション課

TEL : 050-3145-6352

e-Mail : pr@inoac.co.jp